

羽田空港の機能強化に対する県及び政令2市の意見への回答

2019年5月23日に開催された「国土交通省と県・政令2市連絡会議」以降に頂いた羽田空港の機能強化に関する県及び政令2市の意見への国土交通省の回答は以下のとおりです。

	意見	回答
<p>神奈川県</p>	<p>次の点をお願いしたい。</p> <p>①地域住民・企業への丁寧な説明と情報提供 地域住民や企業等の一層の理解と協力を得るため、新飛行経路実現後も必要に応じて国による丁寧な説明と情報提供をお願いしたい。</p> <p>②殿町地区の研究機関等への影響 殿町地区の研究機関等への影響調査において、影響が想定されなかったことは承知しているが、所在する研究機関等からは、新飛行経路運用後の影響について懸念が示されているため、試験飛行・新飛行経路運用後も継続的に調査を実施していただくとともに、事業活動に影響を及ぼす事象が確認された場合には、国が責任を持って、速やかに必要な対策を実施していただきたい。</p> <p>③石油コンビナート上空飛行について 国が示した「落下物対策総合パッケージ」の対策について、国をはじめ関係者が一丸となってしっかりと取り組むという前提の上で、次のことについて対応をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の石油コンビナート地域上空飛行制限が見直された後の安全対策については、引き続き川崎市をはじめとした関係機関と十分調整していただくこと。 ・ 石油コンビナート地域上空を飛行することに対する防災対策等について、国が責任をもって地元の理解と協力を得られるよう、引き続き丁寧な説明と情報提供を行っていただくこと。 <p>④神奈川県石油コンビナート等防災計画（石コン計画）の修正について 石コン計画の改定にあたり、石油コンビナート上空飛行制限に関する内容について、適切に修正できるよう国の対応をお願いしたい。</p>	<p>①地域住民・企業への丁寧な説明と情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの方のご理解を頂くため、これまで5巡にわたるオープンハウス型の住民説明会の開催や、地元企業が参加する協議会での説明など、丁寧な情報提供を行ってきたが、引き続き、以下の取組を含め様々な手法を用いた丁寧な情報提供を行っていく。 ■ 住民への説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年の秋以降、オープンハウス型の説明会を基本としつつ、住民に対する説明会を開催する。なお、説明会の具体的な形式に関しては、地域の事情も踏まえ、川崎市と調整を実施する。 ■ 適時適切な広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行検査の実施、運航開始などそれぞれのフェーズを考慮しつつ、さまざまな手法で広報を実施する。 <p>②殿町の研究機関等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで、研究開発機関等の建物の遮音性能を評価し、影響が想定されないことは確認しているが、新飛行経路の運用後、改めて当該地域の騒音調査等を実施するとともに、必要に応じて研究開発機関等への確認を行い、影響が発生した場合には、発生現場にて調査を行い、内容に応じて専門家等の意見を踏まえつつ、関係者で連携して対応する。 <p>③石油コンビナート上空飛行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落下物対策を含む安全対策に万全を尽くした上で、以下の取組を行う。 ■ 飛行制限の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和45年からの飛行制限の見直しにあたっては、川崎市をはじめとした関係機関と調整の上、必要な措置を講じる。 ■ 川崎石油コンビナート地域での事故・災害発生時の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救助活動等の妨げとならぬよう、状況に応じて配慮した運用を行うほか、防災対策等について引き続き丁寧な説明と情報提供を行う。 <p>④神奈川県石油コンビナート等防災計画の修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎石油コンビナート地域の飛行制限見直しを踏まえ、今年度末までに適切に修正にできるよう一致協力する。
<p>川崎市</p>	<p>次の点をお願いしたい。</p> <p>①試験飛行の早期実施について 飛行検査等安全確認が必要なのは理解しているが、運航開始直前の実施ではなく、少しでも前倒して大型機の試験飛行を実施してほしいという地元意向を踏まえ、適切な対応をお願いしたい。</p> <p>②石油コンビナート上空飛行制限の取扱いについて 飛行制限の見直しにあたり、安全性の確保とセットで、その内容を示すことをお願いしたい。</p> <p>あわせて、引き続き地元への説明と調整をお願いしたい。</p> <p>③丁寧な地元への説明の継続について 特に、殿町周辺住民、キングスカイフロント等の企業への丁寧な説明の継続をお願いしたい。</p> <p>④その他、騒音影響低減の取組や防音工事等の柔軟な対応など、これまで本市が要望してきた事項について、引き続き必要な対応をお願いしたい。</p>	<p>①試験飛行の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行検査の期間とAIP（航空路誌）における周知期間を考慮すれば、民間の航空機による運航が可能となるのは、1月下旬の予定である。 ・ このため、これ以降のできるだけ早い時期に実機による試験飛行を実施する。 <p>②石油コンビナート上空飛行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落下物対策を含む安全対策に万全を尽くした上で、以下の取組を行う。 ■ 飛行制限の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和45年からの飛行制限の見直しにあたっては、川崎市をはじめとした関係機関と調整の上、必要な措置を講じる。 ■ 川崎石油コンビナート地域での事故・災害発生時の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救助活動等の妨げとならぬよう、状況に応じて配慮した運用を行うほか、防災対策等について引き続き丁寧な説明と情報提供を行う。 <p>③地域住民・企業への丁寧な説明と情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの方のご理解を頂くため、これまで5巡にわたるオープンハウス型の住民説明会の開催や、殿町地区の住民および地元企業が参加する協議会での説明など、丁寧な情報提供を行ってきたが、引き続き、以下の取組を含め様々な手法を用いた丁寧な情報提供を行っていく。 ■ 住民への説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年の秋以降、オープンハウス型の説明会を基本としつつ、住民に対する説明会を開催する。なお、説明会の具体的な形式に関しては、地域の事情も踏まえ、川崎市と調整を実施する。 ■ 適時適切な広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行検査の実施、運航開始などそれぞれのフェーズを考慮しつつ、さまざまな手法で広報を実施する。 <p>④騒音影響低減の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着陸料に関しては、2017年から騒音の要素を組み合わせた着陸料体系を導入しているが、関係機関との調整後、2020年2月を目途に騒音に関してよりメリハリを付けた着陸料体系に変更することにより、低騒音機の導入を推進する。 ・ 航空機騒音測定局を新経路付近に移設し、騒音状況を把握するとともに、ホームページ等においてその結果について情報提供を実施する。 ・ B滑走路の西向離陸に関しては、長距離国際線の制限（6000km以上の路線に関しては、一定の低騒音機を除き離陸を制限）、4発機の制限、騒音軽減方式の導入を行うとともに、継続的に騒音状況の監視を実施する。 <p>⑤防音工事等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育施設等の騒音防止工事の助成について <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律に基づく学校等の騒音防止工事の補助が可能となる施設は、川崎市内で4施設を見込んでいる。補助の申請は随時受付中であり、施設管理者の意向により対応することとしている。 ■ 殿町の研究機関等への影響 <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで、研究開発機関等の建物の遮音性能を評価し、影響が想定されないことは確認しているが、新飛行経路の運用後、改めて当該地域の騒音調査等を実施するとともに、必要に応じて研究開発機関等への確認を行い、影響が発生した場合には、発生現場にて調査を行い、内容に応じて専門家等の意見を踏まえつつ、関係者で連携して対応する。
<p>横浜市</p>	<p>運用に向けて、引き続き、住民への丁寧な説明、情報提供を行うとともに、関係自治体と十分に連携を図りながら、羽田空港の機能強化に取り組んでいただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係自治体と連携を図り意見や要望等を踏まえながら、引き続き丁寧な説明、情報提供を行い、騒音対策や安全対策に万全を期した上で羽田空港の機能強化に取り組んでまいります。